

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023 年 10 月 31 日

学 校 名	活水女子大学 長崎総合科学大学		
学部・学科名	国際文化学部 日本文化学科 総合情報学部 総合情報学科		
チ ャーム名 (個人参加の場合は任意)	感無量三重奏	エントリーNo.	54
1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか) ・現状および課題認識 九州には食・温泉・歴史的建造物など多数の観光地を抱えている県がある。しかしそれを九州外の人からあまり知られていないという現状がある。たとえ旅行に来てくれたとしても、多くの観光地を抱えている県ではその全てを巡ってもらうことは難しく、全ての魅力を知ってもらうことも難しい。さらに一度行ったからという理由で旅行先の候補から外れるなどということもあるだろう。であるため何度でも九州に来てもらえるような主に大学生に向けた新しい旅行プランを考え九州のアピールをすることにした。			
2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて 私たちは「みんなでまわろう2 択ツアー」を企画する。4 人以上でツアーに参加してもらい運営が事前に用意した 2 カ所を選び 2 手に別れ別々の観光地を巡ってもらう。観光後バスの移動中の車内などでそれぞれの観光地について話してもらう。再度運営が用意した 2 カ所を選んでもらう、集合する、を繰り返し行い一つのバスツアーで多くの場所を巡る。行ったからこそ分かる楽しさを共有しもう一つの観光地にも行きたかったと思わせることでその県に何度も足を運んでもらうきっかけ作りを促す。行きたかったという前向きな後悔になるリピートを目的としたツアーの企画。			
3. 九州や地域社会への影響について ・新たなアイデアが九州や地域に及ぼす効果(誘客、活性化等)はどうか。 このツアーを九州全域で行おうことにより一つの県だけで無く次の県に行こうという層をとで入れることが出来九州全体の観光業の活性化につながると考えられる。			
4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介 ・商品・サービス・ノウハウなどを分かりやすくご説明ください。 ・「事業収入(提供金額)」「費用(事業コスト)」「告知手法」等を可能な限り記述してください。 リピートを目的に現在の長崎の観光の収入を二〇パーセント五〇〇億円の増加が見込める広告は主に大学に向けたパンフレットの配布とバスや電車の広告を考えている。			
5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて 持続可能性としてこのツアーは定期的に行うものではなくゲリラ的に開催をし特別感を出し毎回最大人数のツアーになればと考えている。			